

東北地方 1 か月予報

(9月29日から10月28日までの天候見通し)

平成24年9月28日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

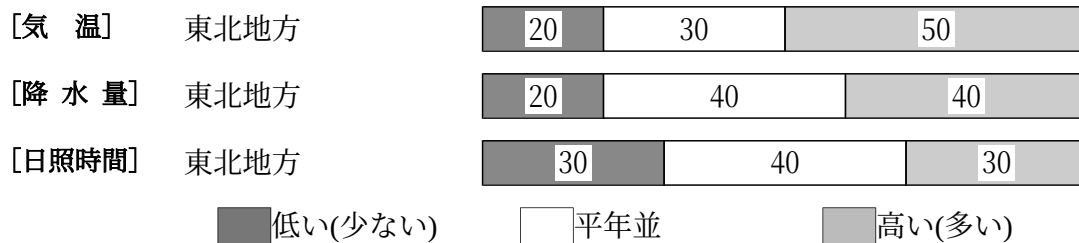
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。

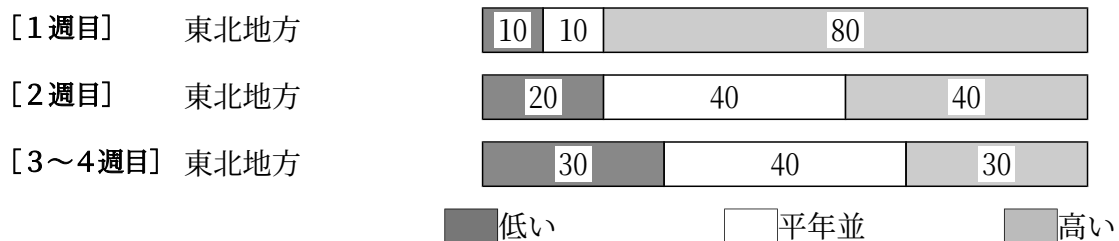
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月29日(土)~10月28日(日)
1週目 : 9月29日(土)~10月 5日(金)
2週目 : 10月 6日(土)~10月12日(金)
3~4週目 : 10月13日(土)~10月26日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は10月5日
3か月予報: 10月25日(木) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	13.6	101.1	147.0	16.0	14.6	12.3
深浦	13.9	152.6	129.7	16.0	14.8	12.8
むつ	12.9	112.1	155.3	15.2	13.9	11.7
八戸	13.5	89.6	155.1	15.8	14.5	12.3
秋田	14.5	151.9	142.8	16.9	15.5	13.2
盛岡	12.6	93.8	140.4	15.1	13.7	11.3
大船渡	14.4	142.5	133.7	16.5	15.3	13.2
宮古	13.7	133.2	148.4	15.8	14.7	12.6
仙台	15.6	127.2	139.9	17.7	16.5	14.5
石巻	15.0	118.7	148.2	17.1	15.9	13.8
山形	14.1	90.6	127.0	16.5	15.1	12.8
新庄	13.2	147.5	104.0	15.7	14.3	11.9
酒田	15.6	170.4	139.4	17.8	16.5	14.4
福島	15.6	122.4	128.1	17.8	16.5	14.4
若松	14.1	97.0	116.8	16.7	15.2	12.7
白河	14.0	137.8	129.9	16.1	14.9	12.8
小名浜	16.8	176.8	144.7	18.8	17.7	15.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981～2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.4	77～105	98～107
東北日本海側	-0.4～+0.4	82～110	97～106
東北太平洋側	-0.4～+0.4	69～108	98～108

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.7	-0.5～+0.7	-0.3～+0.4
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.5～+0.7	-0.4～+0.5
東北太平洋側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.7	-0.3～+0.4

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成24年9月28日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（9月29日～10月28日）：

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わるでしょう。

期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50％です。

なお、9月25日に発表した3か月予報の「10月の気温の確率」は、東北地方で「気温は、各階級の確率の偏りは小さい」と予報しましたが、9月末から10月に相当する期間の今回の1か月予報では、1週目に顕著な高温の影響が予想されることから、月平均気温を上方修正し、東北地方では「高い確率50％」としました。

1週目（9月29日～10月5日）：

気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。なお、10月1日は、台風第17号の影響を受けて大荒れの天気となるおそれがあります。

気温は、高い確率80％です。

2週目（10月6日～10月12日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。移動性高気圧におおわれ、気温の高い日がある見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40％です。

3～4週目（10月13日～10月26日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

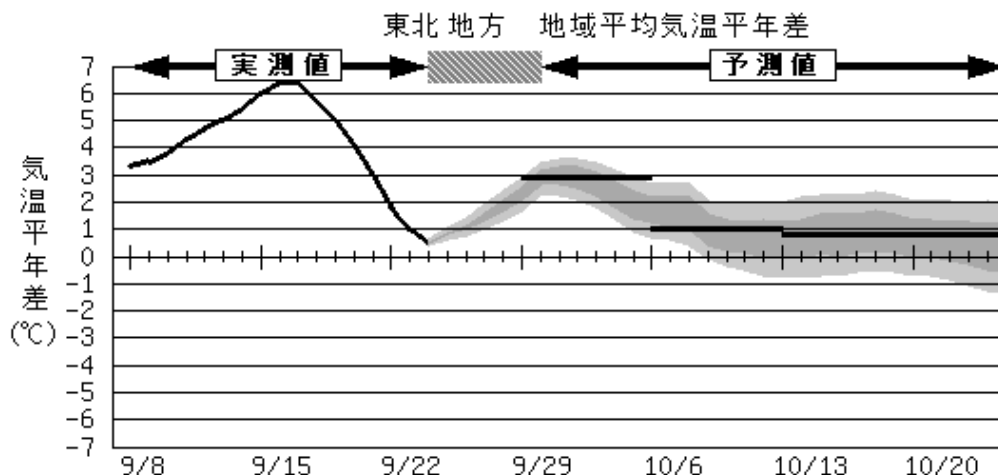
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
15.0	11.1	14.2	12.4	14.5	9.0	14.3	7.4	12.7	8.7	13.5	7.1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3～4週目とも平年を上回る予想となっている。



- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

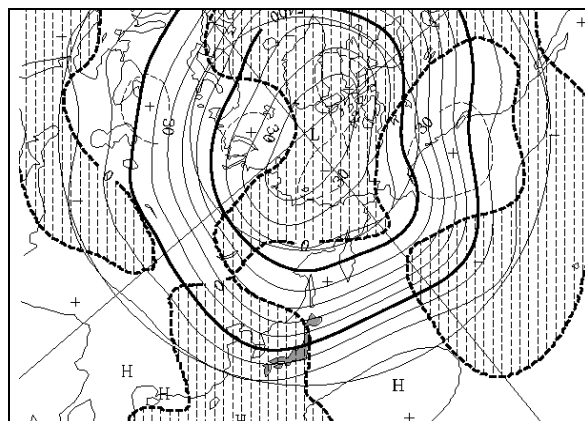
3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均:

偏西風が蛇行し、黄海付近は気圧の谷、日本の東は気圧の尾根となる。前線は日本の南に位置し、東北地方は高気圧と低気圧が交互に通過する。1週目に台風の影響を受けるため、降水量は多い傾向。期間の前半を中心に暖かい空気が入りやすく、気温は高い見込み。

1週目:

東シナ海付近は気圧の谷、日本の東は気圧の尾根となる。期間の中頃は台風第17号の影響を受けるおそれがある。南から暖かい空気が入りやすく、気温はかなり高い見込み。

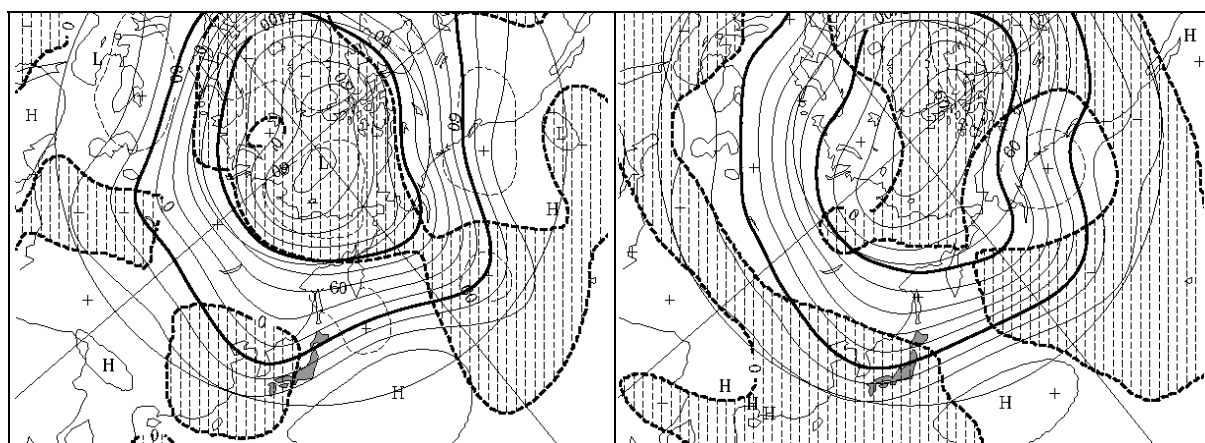


1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

2週目:

黄海から西日本にかけて気圧の谷となる。前線は本州の南に位置する。東北地方は高気圧と低気圧が交互に通過する見込み。移動性高気圧におおわれ、気温の高い日がある。



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（9月21日～9月27日）の天候の経過

この期間、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間のはじめと終わりは高気圧におおわれて晴れの日があった。23日から24日にかけては低気圧が関東の南から北東に進んだ影響で、東北太平洋側を中心に大雨となったところがあった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

